

より安全で使いやすい学校家具の検証

【研究のポイント】

平成13年度から学校家具の開発に取組み、平成14年に開発した机や椅子は、日田市や別府市で毎年導入が進み、これまでに10,000脚近くが教育の現場で活用されています。  
最初の導入時から約8年が経過しているため、これまでに導入された机、椅子の問題点を抽出し、より安全で使いやすい学校家具に改良する研究に取り組みました。

○導入された机と椅子の現状を調査したところ、一部の机と椅子にほぞの抜け、あり棧(ざん)のずれ、材の欠けなどの不具合と使い勝手に問題が生じていました。

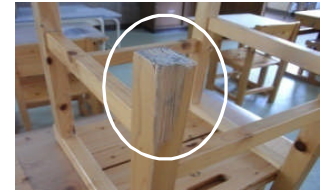
ほぞ抜け



あり棧(ざん)ずれ



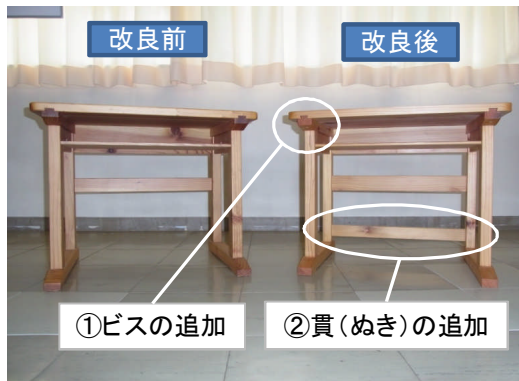
材の欠け



○問題点を解決し使い勝手を向上させるため、次の改良を行いました。

- 【机】①天板ずれ防止に天板とあり棧をビスで固定
- ②足乗せ用に机前脚の下部にも貫(ぬき)を追加
- 【椅子】③脚部下部に欠け防止の床すりを追加
- ④座り心地を考慮して座面と背面を曲面加工

【研究の成果】



※県内各市町村の教育委員会を訪問し、県産材で作られた学校机・椅子の導入を働きかけました。

【教育委員会の声】



竹田市教育委員会の皆さん

- 温もりが感じられる。
- すべすべしていて、触っていて気持ちいい。
- 思っていたよりも軽くていい。

【連絡先】

担当: 林業研究部 木材チーム  
TEL : 0973-23-2146 (問い合わせは 企画指導担当 へ)  
住所: 日田市大字有田字佐寺原35